

質問者 木村公雄

質問事項	質問の要旨
<p>1 女川原子力発電所2号機の再稼働に係る「地元同意」を求める方策及び時期について</p>	<p>東北電力㈱は2013年12月27日、原子力規制庁に対し、女川原子力発電所2号機（以下「発電所」という。）の発電用原子炉設置変更許可申請を行い、2019年11月27日、その審査書案が了承されました。</p> <p>パブリックコメントを経た後に規制委員会の結論が出され、発電所の再稼働に向けた「地元同意」が必要不可欠になってきます。</p> <p>次の点について見解を伺います。</p> <p>（1）水産、養殖漁業等の基幹産業に従事する町民を始めとする全ての町民が苦渋の選択を強いられていると思うので、国に対し国が全面に立って地元住民（特に女川町民）に対し懇切丁寧に新規制基準適合性審査書案の概要について説明させるべきではないでしょうか。</p> <p>また、元内閣総理大臣の小泉純一郎氏が3月28日（土）に来町され、「日本の歩むべき道」のお話を聞く会が予定されておりますが、町民に広く呼びかけ参加を促しては。</p> <p>（2）町長は女川町議会において、正式に発電所の再稼働の条件となる「地元の同意」と判断する根拠を示していませんが、根拠を示す時期は</p>

質問者 木村公雄

質問事項	質問の要旨
	<p>町長の在任期間内なのか、次回令和5年執行の町長選挙時における公約としてその信を問われるのか。</p> <p>(3) 女川町において発電所の重大事故時の広域避難計画に最大の問題があるとするれば、国道398号の石巻市沢田志の畑から石巻バイパス「沢田工区」へのトンネルによる通行の確保とそれに続く「沢田工区」の着工、完成であると思います。町執行部、議会、業界、住民のいわゆる「四輪駆動」精神の全てを出し尽くして、国や宮城県、事業者の東北電力(株)に対し、強力な手段と強い覚悟と使命感をもって、政治的行動を起こすべきであると思いますが、見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問者 木村公雄

質問事項	質問の要旨
<p>2 天皇皇后両陛下の 行幸啓について</p>	<p>来る9月26日、27日、石巻市において「第40回全国豊かな海づくり大会～食材王国みやぎ大会～」が開催されますが、両陛下の御出席に合わせ、関係当局に本町への行幸啓を強く働きかけていただき、上皇上帝下（平成28年の女川町行幸啓時天皇皇后両陛下）の行幸啓記念碑並びに上皇后陛下（当時皇后陛下）が詠まれた御歌碑の御参観と、復興のトップランナーとしてよみがえった本町の現況を御高覧いただければと思いますが、見解を伺います。</p> <p>（1）東日本大震災後に宮城県内で上皇后陛下（当時皇后陛下）が御歌を詠まれた女川町を含む自治体名と御歌名は。</p> <p>（2）建立資金と財源の内訳は。</p> <p>（質問の相手：町長・教育長・担当課長）</p>

質問者 木村公雄

質問事項	質問の要旨
<p>3 町内離半島地区以外の戸建災害公営住宅の早期払下げについて</p>	<p>本町では離半島地区内の戸建木造災害公営住宅（以下「住宅」という。）について、年次計画の下に譲渡処分を計画中ですが、それ以外の地区にある住宅も、町民の町外転出の抑制と固定資産税の増収、生活の安定等に資する目的をもって早期に払い下げるべきだと思いますが、見解を伺います。</p> <p>(1) 公営住宅法第44条第1項に基づく中高層の耐火性能を有する共同住宅及び木造の戸建住宅数は。</p> <p>(2) そのうち、年次計画に基づき令和元年度から令和4年度までの譲渡する地区名と各地区の払下げ予定数は。</p> <p>(3) 平成29年度から令和元年度までの移住者と転出者数並びに移住施策に要した予算総額は。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>